

# 追跡レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成20年12月定例会 ● 質疑  
渡邊 正俊 議員

### 電気牧柵の設置費用を助成できないか

イノシシ対策に有効な電気牧柵などの設置に対して、町独自の助成措置をとっていただけませんか。

山田町長／検討していく

国や県による助成を視野に入れつつ、町独自の方法を検討していきます。

～電気牧柵設置者に対する補助金の交付を開始～

### 広野町電気牧柵設置補助金交付要綱

〈概要〉  
平成22年4月1日から、町内に所有権または耕作権を有する田、畑および山林に設置する電気牧柵器本体や資材の経費が対象となっています。  
補助金の額は、事業に要した経費の2分の1以内で、2万円を限度とし、(100円未満の端数は切り捨て) 交付申請は、補助対象者1人につき1回限りとなっています。



▲水田周辺に設置された電気牧柵

# 7人の議員が町政を問う

## 一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について事実の説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席 (広野町議会議場)

### 今後の「町民号」実施計画はいかに

山田町長／多くの意見を参考に検討する

**渡邊** 今年は、30回目となる町民号を町制施行70周年記念を兼ねて実施されました。年々町の財政が厳しくなっていく中、町民号実施の是非を議論するのは当然ですが、この事業を心待ちにしている町民も多く、今後行政サービスの維持向上に努め、住みよい町づくりを推進するた

めには、次回の実施についても前向きに検討すべきではないですか。

**町長** 昭和47年2月に、町民の親睦と融和を目的とし、第1回

広野町民号が実施されてから今年で30回目となり、延べ参加人数は1万人を超えています。しかし、近年の参加者は減少傾向にあるなど、見直しの時期を迎えていると考えており、今後はアンケート調査を実施するなど、多くの町民の意見を伺いながら検討していきます。

### 行政財産の効果的な運営に取り組み

山田町長／健全な住宅運営を旨指す

**渡邊** 少子高齢化が急速に進み、地域経済や雇用情勢の悪化など、地方自治体を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、当町の根幹をなす税収

が年々落ち込み、人口の増加も見込めず、財源不足のさらなる拡大が懸念されています。こうした中、行政財産である町営住宅について、入居率を高める

が入居しており、空き室は2戸となっています。なお、桜田住宅は若い世代の住人が多く、他の町営住宅に比べると入居率が頻繁であり、空き室も常に変動している状況ですが、今後も高い入居率を維持していきたいと考えています。

次に、滞納状況については、10月1日現在、35世帯1569万6100円となっています。その対応については、督促状を送り、特に悪質と思われる滞納者に対しては個別に連絡を取るなど、住宅退去を含め、今後の対応策について協議を進めていきます。

**町長** 桜田住宅の入居状況は、12月1日現在60戸のうち58戸

また、町の徴収員の協力を得て、滞納金の回収にも努め、今後とも家賃滞納額の削減に向けて努力していきます。



渡邊 久長 議員



▲楽しい時間に笑顔が満開 (第30回広野町民号)